

令和元年 10月 27日

（あて先）熊本市長

団体名 NPO 法人熊本県難聴者中途失聴者協会
代表者 理事長 宮本 せつ子



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成31年4月1日付け指令（地活）第1－9号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

難聴者・中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座

2 助成事業の実施期間

平成31年 4月21日～ 令和元年10月20日

（令和元年7月21日（日）、8月4日（日）、8月25日（日）、9月8日（日））

3 助成事業の内容

難聴、中途失聴当事者を対象に、自身の障がい特性の理解や障がいの受容を促し、社会参加を支援することを目的としたセミナーを開催した。

4 事業の成果

難聴、中途失聴当事者に対して、自分の障がいの特性を改めて学び、理解を深める場を提供することができた。同障者との語りを通して、主体的に社会参加していく勇気を与えることができた。

当事者研究講演会には当事者のみならず多くの一般参加があり、聴覚障がい者の抱える問題を広く知らしめるとともに、障がいの有無に関係なく、自らが抱える問題を主体的に研究し、解決する方法を広く知らせることができた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	2019年度（令和元年度）
事業名	難聴者・中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座
事業年月	平成31年4月21日 ～ 令和元年10月20日
事業の目的	難聴、中途失聴当事者が自分の障がい正しく理解し、社会の様々な場面で必要な配慮を求める力、社会資源を活用して主体的に社会参加していく力を身につけることを目的とする。
具体的な事業内容	事業1 社会参加力向上のためのセミナー （日時）7月21日、8月4日、9月8日 （場所）熊本市障がい者福祉センター 希望荘会議室 （講師）聴覚障害者情報提供センター前所長（社会福祉士）、当会スタッフ （内容）聴覚障がいの基礎知識、便利なサービス・社会資源等、合理的配慮に関するワークショップDVD、難聴者向け手話学習 （参加者）13名 事業2 聴覚障害当事者研究講演会（午前）、ワークショップ（午後） （日時）8月25日 （場所）九州ルーテル学院大学 4301号教室 （講師）宮城教育大学 松崎 丈准教授（聴覚障がい者） 講演会 演題「苦勞の主人公はあなた!レッツ当事者研究」（参加者）71名 当事者研究ワークショップ（参加者）24名 ※事業1のセミナーは難聴者、中途失聴者を対象に4日間の日程で実施した。うち1日を事業2の午後のワークショップに組み込んだ。 ※事業2の午前の講演会のみ一般公開とした。
実施場所	熊本市障がい者福祉センター希望荘、九州ルーテル学院大学
協力団体	なし
事業の効果・公益性	聞こえていないことに自ら気づきにくいという障がい特性をもつ難聴者、中途失聴者が、聴覚障がいについての理解を深め、配慮をもとめる力を身につけることは、社会参加を果たしていくうえで大変重要である。今回は当事者研究講演会を一般公開したことで、聞こえに問題のない人々にも聴覚障がいを理解してもらうことができ、双方に対してよい効果を与えることができた。
次年度以降の事業展望	今回学んだ当事者研究の手法を今後開催する講座に取り入れ、難聴者、中途失聴者が問題解決能力を身につける一助としていく。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	音声中心で情報のやり取りがなされるこの社会において、コミュニケーションに困難を抱える難聴、中途失聴者が社会参加を果たしていくには大きな勇気が必要とされる。この事業は当事者心理を理解する当事者団体ならではの支援アプローチであり、一般への啓発とともに、当会の責務だと感じている。当事者への支援が充実することで、福祉制度の利用が進み、難聴者、中途失聴者が日本一「自分らしく、生き生きと」暮らせる都市にしていきたい。

事業収支決算書

◆ 収入決算

単位：円

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	18,500	講演会にて非会員は参加費（資料代）として 500円×37名
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	97,980	
当該事業に対する助成申請額	224,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	340,480	

◆ 支出決算（事業別）

事業名 支出科目	事業1 社会参加力向上の ためのセミナー	事業2 当事者研究に関す る講演会・ワーク ショップ	事業3	合 計
人件費	8,400	6,000		14,400
報償費	6,000	50,000		56,000
旅費	0	58,920		58,920
人件費等合計【A】	14,400	114,920	0	129,320
役務費	3,840	0		3,840
使用料・賃借料	5,000	38,880		43,880
事務・消耗品費	4,654	5,550		10,204
委託費	100,236	53,000		153,236
合 計	128,130	212,350	0	340,480

助成申請上限額（助成種別：ステップアップ助成）

$$\left[\text{事業費 } 340,480 - \text{控除額【E】 } 0 \right] \times 2/3 = 226,987$$

※控除額・・・超過人件費（人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等合計【A】	129,320	→	超過人件費【C】※	0
事業費の1/2【B】	170,240		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】・・・【C】	-40,920		控除額【C+D】・・・【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆ 支出内訳（事業別）

事業1 〔社会参加力向上のためのセミナー〕

人件費	スタッフ人件費 @600円×延べ14名 7/21 20 21 23 24 8/4 20 21 23 24 9/8 20 21 23 24
報償費	体験発表者謝金 @3,000円×2名 ⑧ 29
旅費	なし
役務費	事業案内（ポスター・チラシ）郵送料 3,840円 ④
使用料・賃借料	ヒヤリンググループ等機材費借用費 5,000円 ⑨
事務・消耗品費	大型封筒 ^① ・ポスター用紙 ^② ・ポスター印刷費 ^③ ・資料印刷費 ^{⑤⑥⑬} 560
委託費	チラシ印刷委託費 7,236円 ⑦ 要約筆記派遣委託費 93,000円（3回機材費含む）⑩（2,000×3, 5,000×3）

事業2 〔当事者研究に関する講演会・ワークショップ〕

人件費	スタッフ人件費 @600円×延べ10名（駐車場案内スタッフ含む） 20 21 22 23 24 25 26 27 28 30
報償費	講師謝金 50,000円（1h 10,000円×5時間）⑭
旅費	講師交通費 27,480円／（羽田－熊本 往復航空代） 16,860円／（盛岡－東京 往復新幹線代）（2,920＋5,940） 1,400円／（熊本空港－通町 往復リムジンバス代） 980円／（ホテルルーテル学院大学 タクシー代） 講師宿泊費 12,200円／ ⑪ ⑬ ⑫
役務費	なし
使用料・賃借料	ルーテル学院大 部屋借用費 38,880円 ⑮
事務・消耗品費	資料印刷費 ⑨⑩
委託費	要約筆記派遣委託費 37,000円（5,000円機材費含む）⑯（3,000＋5,000） 手話通訳派遣委託費 16,000円 ⑰